

# 奈佐地区コミュニティ組織設立準備委員会



## 地区の概況

人口	1,165人	小学校	奈佐小学校（児童数 66人）
世帯数	382世帯	中学校	なし（豊岡北中学校区）
高齢化率	37.1%	幼稚園	なし
集落数	12	保育園	なし
		認定こども園	なし

## 組織の状況

代表者名	岡谷 邦人
会の構成	区長会、公民館、長寿会、奈佐小PTA・スポ少、育成会、消防団、スポーツクラブ 21、農会長会、健康をすすめる会（計 21名）

## これまでの経過

\*平成 26 年 10 月モデル開始

	これまでの取組み	主な内容
H 26	10月 第1回設立準備委員会	出前講座、今後の進め方
	11月 第2回設立準備委員会	地区の良いところ、課題の整理
	1月 第3回設立準備委員会	課題解決に向けたアイデアの整理
H 27	4月 観桜の会 第4回設立準備委員会	地域コミュニティづくりの推進及び親睦 組織構成、部会構成の検討
	7月 第5回設立準備委員会	部会構成に向けてのワークショップ（1回目）
	10月 第6回設立準備委員会	部会構成に向けてのワークショップ（2回目）
	11月 先進地視察研修	海上区・うみがみ元気村（新温泉町）
H 28	2月 第7回設立準備委員会	組織体制とスローガンの検討
	3月 第8回設立準備委員会	組織の名称決定、はじめの第一歩計画の検討

## 分野別取組み内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①奈佐森林公園まつり</li> <li>②子どもの登下校安全見守り活動</li> <li>③防犯活動</li> <li>④観桜の会</li> </ul>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域防災</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①消防訓練</li> <li>②防火・防災訓練</li> <li>③消防団による活動</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①敬老会</li> <li>②長寿会一泊研修</li> </ul>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①文化祭</li> <li>②小学校公民館合同運動会</li> <li>③三世代交流そば打ち大会</li> <li>④ソフトボール大会</li> <li>⑤バレーボール大会</li> <li>⑥At.奈佐ウォークラリー大会</li> <li>⑦夏休みラジオ体操</li> <li>⑧奈佐節継承</li> <li>⑨乳幼児親子サークル</li> <li>⑩幼児教育学級</li> <li>⑪公民館各種教室</li> </ul>

## コミュニティの取組み



奈佐地区の準備委員会は、毎回、委員に宿題を提示しているのが特徴です。準備委員会の半月後までに提出してもらい、それを半月でとりまとめて次の準備委員会に臨んでいます。皆さん、それぞれに検討して提出されるので助かっています。

しかし、いつも座って会議しているばかりで楽しくない！という意見もあり、楽しく桜を愛でる「観桜の会」が発案されました。

当日はコントラバスと箏とキーボードとがコラボしたコンサートやサルサダンス、住職による揮毫

(きごう)などを行いました。また、しし鍋汁を無料でふるまったほか、区単位でたこ焼きや焼きそばなどの出店もありました。

懐かしい人との再会や新しい人との出会いの場となり、新たなコミュニティの絆が生まれました。田畑が忙しくなる時期を前に住民に元気を与えられたのではないかと思います。

今回は広報回数が少なかったため、次回開催する際には早めの広報と回数を増やし、より多くの人に来場してもらえるようにしたいです。

奈佐地区の人口は減少する一方で、伝統ある祭りの運営に支障が出始めていました。そこで、昨年度私の区では祭りのあり方検討会を開催して、作業等の取捨選択を行いました。また、草刈りなどの日役の人手も足りなくなってきたため、今年度からは制度を変え、1世帯2人以上出席した場合はその世帯に賃金を支払うことにしました。少子高齢化に柔軟に対応をしながら、住民同士の繋がりを大切にしていきたいと考えます。



岡谷邦人さん  
(同準備委員会 会長)